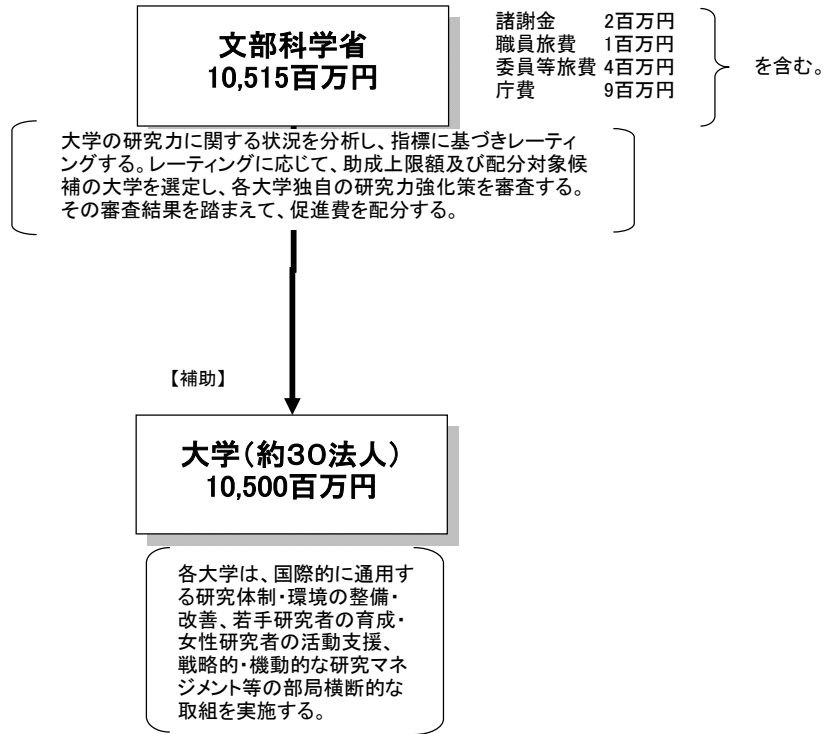


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	研究大学強化促進費	担当部局庁	研究振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～	担当課室	振興企画課学術企画室	学術企画室長 伊藤 史恵			
会計区分	一般会計	施策名	IX-1 学術の振興				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定) 資源配分方針(平成24年7月30日総合科学技術会議 (第103回)決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	世界基準に照らして、高い水準で研究力の進展が期待できる大学に対し、エビデンスに基づき、国際的に通用する研究体制・環境の整備改善など、大学独自の研究力強化策を支援することにより、世界で戦える「リサーチ・ユニバーシティ」群を増強することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	指標に基づき、研究力の進展が期待できる大学を支援対象の候補として選定し、審査を行った上で支援する。大学は、自らの状況を分析し、大学の強みを生かして目指すべき目標を設定し、取組の基本的な方向性及び内容等に関する大学独自の研究力強化策を作成する。また、学長に対するヒアリングや取組状況の把握等により、当該大学の研究力強化に向けた継続的な改革努力を担保する。また、5年毎にレーティングの見直し・入替えを行うことも検討する。 なお、当該補助金は定額補助である。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	10,515
		補正予算	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	10,515
	執行額	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (29年度)
	我が国の論文数増加率(2000年比)	成果実績	-	-	-	-	6%
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	科研費の獲得状況	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				( )	( )	( )	( )
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国際共著論文比率	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
				( )	( )	( )	( )
単位当たり コスト	350(百万円/機関)		算出根拠	単位当たりコスト = 大学研究力強化促進費(平成25年度概算要求額:10,500百万) / 支援対象機関数(30機関)			
平成24・25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	研究大学強化促進費 補助	-	10,500百万円	※要求額のうち重点要求8,490百万円			
	諸謝金	-	2百万円				
	職員旅費	-	1百万円				
	委員等旅費	-	4百万円				
	庁費	-	9百万円				
	計	-	10,515百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと計は一致しない。			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	イノベーションの源泉となる基礎研究の国際的な地位の低下が指摘されている等、我が国において研究力の強化が必要とされている。大学は、我が国の研究の重要な担い手であり、国際競争力を高めていくためには国として積極的に支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支援対象の選定は客観的指標に基づいて行う。また、取組内容について、学長へのヒアリングを実施し、大学としての改革努力を促す。達成状況が不十分な場合は、補助金の減額・中止、支援対象の入れ替えも検討している。支援コストは、海外の同様の施策も参考しつつ、大学の先駆的事例等を元に行っている。使途は、各機関の計画に対するヒアリング等を通じて精査する。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業においては、国公私立大学を対象に、客観的な指標に基づいて研究力の進展が期待できる大学を支援対象として選定し、部局横断的な大学独自の研究力強化策を支援する。また、5年後にレーティングを見直し、支援対象の入替えを行うことにより、大学間で、研究力強化に向けて切磋琢磨する仕組みを導入する。これらの独自の取組によって、本事業が我が国の研究力を向上させるに実効的であると期待する。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		被引用回数の多い論文数のシェア等を国際的に比較すると、我が国の国際的なプレゼンスは、上位層を含め相対的に低下している。その要因として、大学等における研究体制・環境の継続的な改善に課題があること、我が国の論文生産の約7割を担う大学の研究力に課題があること、世界で戦える「リサーチ・ユニバーシティ」としての国際競争力とその層の厚みに課題があることが挙げられる。このため、国際的に通用する体制づくりに向けた各大学独自の改革を重点的に支援することは、我が国の研究を牽引する、世界で戦える「リサーチ・ユニバーシティ」群を増強し、我が国の研究力を向上させる上で不可欠である。	
予算監視・効率化チームの所見			
本事業は、事業の成果目標等も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)  <a href="http://www.npu.go.jp/policy/pdf/20120731/20120731.pdf">http://www.npu.go.jp/policy/pdf/20120731/20120731.pdf</a></p> <p>○資源配分方針(平成24年7月30日総合科学技術会議(第103回)決定)  <a href="http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/iken20120730_1.pdf">http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/iken20120730_1.pdf</a>  <a href="http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/iken20120730_2.pdf">http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/iken20120730_2.pdf</a>  <a href="http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/iken20120730_3.pdf">http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/iken20120730_3.pdf</a></p> <p>○大学改革実行プラン(平成24年6月5日文科科学省発表)  <a href="http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/_icsFiles/afiedfile/2012/06/25/1312798_01.pdf">http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/_icsFiles/afiedfile/2012/06/25/1312798_01.pdf</a>  <a href="http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/_icsFiles/afiedfile/2012/06/05/1312798_02_2.pdf">http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/_icsFiles/afiedfile/2012/06/05/1312798_02_2.pdf</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
研究大学強化 促進費補助	研究力強化策支援	10,500			
計		10,500	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)